

2022年12月4日

関係各位

社会福祉法人 中心会  
理事長 浦野 正男  
相模原南児童ホーム  
所長 曾我 幸央

相模原南児童ホームの児童・職員の  
新型コロナウイルス感染について  
(25の④)

12月1日付の既報(25の③)の続報をお知らせします。これまでの経緯は既報(25、25の②、25の③)をご参照ください。

既報(25の③)で、11月30日(水)に児童12名、職員4名、合わせて16名の検体を採取してPCR検査(2回目のPCR検査)を行ない、1日(木)に全員の陰性が確認されたことをもって、それ以上の感染の伝播はないものと推定される旨をご報告しました。

しかし、昨3日(土)、この2回目の検査では陰性が確認されていた児童2名に体調不良がみられ、抗原定性検査を行なったところ、2名ともに陽性が確認されました。

2名の児童はただちに別室に隔離しました。

その上で相模原南児童ホームでは、昨3日(土)夜、この区域で生活する児童10名、勤務する職員5名、計15名に抗原定性検査を行ない、児童10名全員、職員5名全員、計15名全員の陰性が確認されましたが、更にこの15名のPCR検査を行なうために検体(唾液)を採取、本4日(日)、検査機関に送付しました(3回目のPCR検査)。

このPCR検査の結果が到着しましたら、あらためてご報告します。

皆様には度々のご心配をおかけして、誠に申し訳なく存じますが、感染防止に今後も尽力しますので、ご理解、ご協力をお願いします。